

【立川分会】

支部11期テーマ

「メンバー一人ひとりの幸せのため、
個の想いを大きな力に変えていこう」

前半年度
分会活動テーマ

メンバーの「働きがい」に繋げるため
信頼関係の土台を構築し、
職場風土の改善に取り組みます。

支部 重点項目

主体的な
Voiceサイクル

信頼感を持った
経営との対話

納得性のある
人事賃金制度の
構築

重点項目
アクション宣言

●「聴く・話し合う」の質の向上に向けた
具体的なアクション
・立川分会一体となり「コミュニケーション」を軸に現状把握、メンバーの声を聴く
機会を強化し、相互尊重を向上するための
具体的なアクションに繋がります。

●「伝え、知らせる」具体的なアクション
・執行委員中心に現場メンバーの声を直接
経営に意見提言します。職場委員を含めメ
ンバーの声に対しフィードバックを行い、
次のVOICEサイクルに自然と循環する状
態を目指します。

●分会特性に合わせたアクション
・職場風土改善のコミュニケーションの活
性化には、兼任役員との連携をより高め
ます。また、VOICEサイクルの進捗を適宜
確認し、プロセスを提示しながら兼任役員
をサポートしていきます。

<重点取り組み>

・課題＝あらゆる場面でのコミュニケーション
実態を把握するためにヒアリングを活用。
「コミュニケーション」をキーワードにした
テーマ別VOICEを開催し状況を確認する。
また状況を確認するためのアンケートを実
施することで、現状の見える化を目指す。

・メンバーの声や意見提言は、より現場に近い
兼任役員(執行委員)から会社側へ伝えます。
・ただ伝えるだけでなく、組合に相談したこ
とによって変わる・・と実感してもらえるよ
うな期日や進捗状況報告を行います。

・「聴く力」強化のため、職場委員会等を通じ
実践を中心とした勉強会を定期的(3カ月に
1回を目標)に取り組みます。
・支店ならではの課題や各分会活動の好事
例を共有し合う機会を定期的実施し、立川
分会の活動活性化に繋がります。

兼任執行委員が
やるべきこと

●VOICE・職場委員会の議題・仮説設定を
し、評議員・職場委員が運営、情報共有、議
論ができるよう連携・巻き込んだ活動を行
います。職場懇話会で意見提言し、メンバー
には広報にて情報共有し、VOICEサイクル
を意識した活動を行います。

専従執行委員が
やるべきこと

●立川分会全体として職場風土改善の取り
組みのため、兼任役員との連携をより高め
ます。また、VOICEサイクルの進捗を適宜
確認し、プロセスを提示しながら兼任役員
をサポートしていきます。